

## (8) 機械器具製造業

### ◆ 概要

第二次世界大戦後、本市において急速に成長してきた機械関連の製造業は、エレクトロニクス、精密機械分野で国際的な競争力を持つ中堅企業の群生を中心として発展を続け、今では繊維に代わる京都市の代表的産業として定着している。

ここでは、産業中分類のはん用機械器具製造業、

生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業の7業種を合わせて、機械器具製造業とする。

平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は483所で、前年比較では17所減少（対前年増加率△3.4%）している。従業者数は25,638人で、前年比較では243人の減少（同△0.9%）となっている。製造品出荷額等は

表Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

（単位：所、人、百万円）

年	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
平成13年	626	29,929	1,060,130
平成14年	578	28,281	866,161
平成15年	590	28,158	914,619
平成16年	566	28,200	925,372
平成17年	588	28,584	936,229
平成18年	560	28,119	940,007
平成19年	540	29,310	1,043,558
平成20年	564	28,054	χ
平成21年	500	25,881	696,659
平成22年	483	25,638	794,695

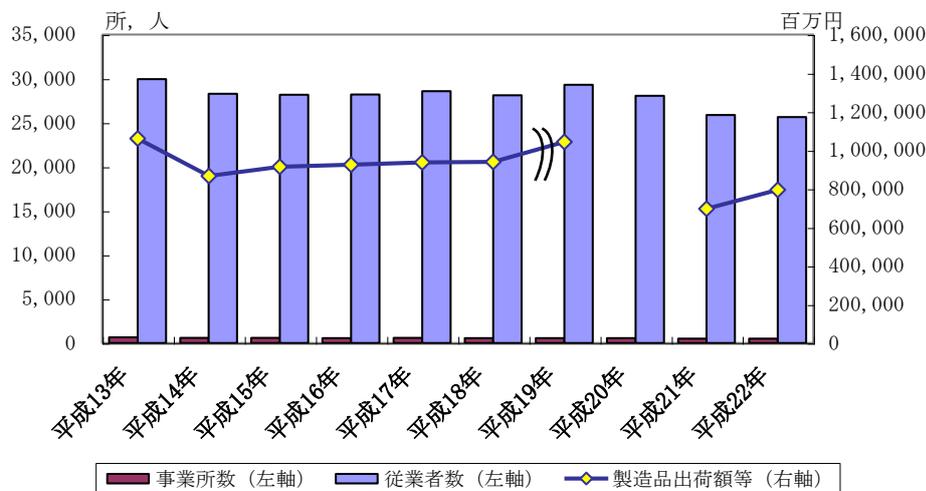
資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年調査において日本標準産業分類の改定が行われたため、前回の数値とは接続しない。

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は、「χ」で表記。

図Ⅱ-3-8-1 機械器具製造業の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

注：平成19年調査で調査項目を変更したため、製造品出荷額等は前回の数値とは接続しない。

注：平成20年調査において日本標準産業分類の改定が行われたため、前回の数値とは接続しない。

7,946億95百万円で、前年比較では980億36百万円増加（同14.1%）している。

京都市の製造業に占める機械器具製造業の割合は、事業所数が18.0%、従業者数は39.3%、製造品出荷額等が36.2%となっている。

平成13年からの推移を見ると、事業所数は増減を繰り返しつつも平成20年までは緩やかな減少から横ばい傾向で推移してきたが、平成21年以降は大きく減少している。従業者数は平成15年から横ばいで推移していた。平成19年に増加したものの、平成21年以降は事業所数の減少に比例して減少している。製造品出荷額等は平成14年から緩やかな増加傾向にあったが、平成21年には大幅に減少した。今回は再度増加に転じている〔表Ⅱ-3-8-1、図Ⅱ-3-8-1〕。

#### ◆ 市内の機械器具製造業の特色

機械器具製造業の特色を業種細分類別で見ると、事業所数は生産用機械器具製造業の半導体製造装置製造業が32所で最も多く、生産用機械器具製造業（181所）全体の17.7%、機械器具製造業全体の6.6%を占めている。従業者数では、電子部品・デバイス・電子回路製造業の集積回路製造業が3,393人で最も多く、電子部品・デバイス・電子回路製造業（4,486人）全体の75.6%、機械器具製造業全体の13.2%を占めている〔表Ⅱ-3-8-2〕。

#### ① はん用機械器具製造業

はん用機械器具製造業は、平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は42所（対前年増加率△19.2%）、従業者数は964人（同△7.0%）、製造品出荷額等は231億62百万円（同39.0%）となっており、製造品出荷額等が大幅増加している。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が1.6%、従業者数は1.5%、製造品出荷額等は1.1%となっている。

業種細分類別では、他に分類されないはん用機械・装置製造業が事業所数、従業者数で最も多くなっており、各種機械用部品製造修理業が製造品出荷

額等で最も多くなっている。

#### ② 生産用機械器具製造業

生産用機械器具製造業は、平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は181所（対前年増加率△0.5%）、従業者数は5,005人（同2.2%）、製造品出荷額等は1,178億41百万円（同18.3%）となっており、機械器具製造業の中では事業所数が最も多い。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が6.7%、従業者数は7.7%、製造品出荷額等は5.4%となっている。

業種細分類別では、半導体製造装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。特に製造品出荷額等は、スマートフォンの普及による半導体の需要拡大等により364億27百万円（対前年増加率114.4%）と前年対比で倍以上に増加している。また、前年製造品出荷額等の多かった包装・荷造機械製造業は151億48百万円（同△18.4%）に減少している。

#### ③ 業務用機械器具製造業

業務用機械器具製造業は、平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）によると、事業所数は85所（対前年増加率3.7%）、従業者数は7,446人（同0.3%）、製造品出荷額等は2,311億50百万円（同6.0%）となっており、機械器具製造業の中では従業者数が最も多い。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が3.2%、従業者数は11.4%、製造品出荷額等は10.5%となっている。

業種細分類別で見ると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで分析機器製造業が最も多くなっている。京都市には、国内でも有数の大手分析機器メーカーがあり、その下請業者も多く、分析機器製造業の事業所数、従業者数や製造品出荷額全体の数字を押し上げている。

#### ④ 電子部品・デバイス・電子回路製造業

電子部品・デバイス・電子回路製造業は、平成 22 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、事業所数は 32 所(対前年増加率△15.8%)、従業者数は 4,486 人(同△1.5%)、製造品出荷額等は 1,710 億 30 百万円(同 10.7%)となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 1.2%、従業者数は 6.9%、製造品出荷額等は 7.8%となっている。

業種細分類別で見ると、事業所数は、その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業が最も多く、従業者数は集積回路製造業が最も多くなっている。製造品出荷額等については 93.6%のデータが秘匿されているため、分析できない。

#### ⑤ 電気機械器具製造業

電気機械器具製造業は、平成 22 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、事業所数は 107 所(対前年増加率 0.0%)、従業者数は 4,444 人(同△6.9%)、製造品出荷額等は 1,120 億 56 百万円(同△8.2%)となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 4.0%、従業者数は 6.8%、製造品出荷額等は 5.1%となっている。

業種細分類別では、配電盤・電力制御装置製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっている。特に京都市内では国内を代表する大手の電気機械器具メーカーが多く、それらの下請業者等の進出、創業がこれまで定着しており、京都市内では中心的な業種となっている。

#### ⑥ 情報通信機械器具製造業

情報通信機械器具製造業は、平成 22 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、事業所数は 4 所(対前年増加率△20.0%)、従業者数は 285 人(同 3.3%)、製造品出荷額等は 98 億 40 百万円(同 7.2%)となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 0.1%、従業者数は 0.4%、製造品出荷額等は 0.4%となっている。

業種細分類別で見ると、従業者数ではその他の通

信機械器具・同関連機械器具製造業が最も多くなっている。製造品出荷額等はすべての業種でデータが秘匿されているため、分析できない。

#### ⑦ 輸送用機械器具製造業

輸送用機械器具製造業は、平成 22 年工業統計調査結果報告(従業者 4 人以上の事業所)によると、事業所数は 32 所(対前年増加率△5.9%)、従業者数は 3,008 人(同 3.0%)、製造品出荷額等は 1,296 億 15 百万円(同 69.0%)となっている。また、製造業全体に占める割合は、事業所数が 1.2%、従業者数は 4.6%、製造品出荷額等は 5.9%となっている。

業種細分類別では、自動車部分品・附属品製造業が事業所数、従業者数、製造品出荷額等のすべてで最も多くなっており、特に、製造品出荷額等は、輸送用機械器具製造業の 94.6%を占めている。京都市内には大手自動車メーカーの工場があり、また自動車の大手部品メーカーもあるため、事業所数は少ないが製造品出荷額等の数字は高い。

表Ⅱ-3-8-2 機械器具製造業の主な産業（細分類）別事業所数，従業者数，製造品出荷額等

（単位：所，人，百万円，％）

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
		構成比		構成比		構成比
<b>機械器具製造業</b>	<b>483</b>	<b>100.0</b>	<b>25,638</b>	<b>100.0</b>	<b>794,695</b>	<b>100.0</b>
<b>はん用機械器具</b>	<b>42</b>	<b>8.7</b>	<b>964</b>	<b>3.8</b>	<b>23,162</b>	<b>2.9</b>
各種機械用部品製造修理業 （注文・製造・修理）	11	2.3	190	0.7	9,411	1.2
他に分類されない はん用機械・装置製造業	14	2.9	234	0.9	3,513	0.4
ボイラ製造業	3	0.6	103	0.4	2,310	0.3
<b>生産用機械器具</b>	<b>181</b>	<b>37.5</b>	<b>5,005</b>	<b>19.5</b>	<b>117,841</b>	<b>14.8</b>
半導体製造装置製造業	32	6.6	1,140	4.4	36,427	4.6
包装・荷造機械製造業	6	1.2	486	1.9	15,148	1.9
<b>業務用機械器具</b>	<b>85</b>	<b>17.6</b>	<b>7,446</b>	<b>29.0</b>	<b>231,150</b>	<b>29.1</b>
分析機器製造業	18	3.7	3,120	12.2	117,913	14.8
その他の計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具製造業	15	3.1	1,751	6.8	50,915	6.4
<b>電子部品・デバイス・電子回路</b>	<b>32</b>	<b>6.6</b>	<b>4,486</b>	<b>17.5</b>	<b>171,030</b>	<b>21.5</b>
電子回路実装基板製造業	7	1.4	330	1.3	6,156	0.8
電子回路基板製造業	6	1.2	124	0.5	2,474	0.3
集積回路製造業	1	0.2	3,393	13.2	⊘	—
<b>電気機械器具</b>	<b>107</b>	<b>22.2</b>	<b>4,444</b>	<b>17.3</b>	<b>112,056</b>	<b>14.1</b>
配電盤・電力制御装置製造業	29	6.0	1,935	7.5	55,340	7.0
電気計測器製造業	9	1.9	710	2.8	23,677	3.0
<b>情報通信機械器具</b>	<b>4</b>	<b>0.8</b>	<b>285</b>	<b>1.1</b>	<b>9,840</b>	<b>1.2</b>
その他の通信機械器具・関連機械器具製造業	1	0.2	216	0.8	⊘	—
ビデオ機器製造業	1	0.2	38	0.1	⊘	—
<b>輸送用機械器具</b>	<b>32</b>	<b>6.6</b>	<b>3,008</b>	<b>11.7</b>	<b>129,615</b>	<b>16.3</b>
自動車部分品・附属品製造業	11	2.3	2,451	9.6	122,570	15.4
その他の航空機部分品・補助装置製造業	11	2.3	245	1.0	2,331	0.3

資料：京都市総合企画局「平成22年工業統計調査結果報告（従業者4人以上の事業所）」

なお，細分類については主なものを取り上げている。

注：該当事業所が特定されるおそれのある箇所は，「⊘」で表記。